

授業と評価の年間計画

教 科	保健体育	科 目	体育	
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科 3年			
学習目標	(1) 日常的にスポーツに親しむなど、生涯体育の実践を目指して、積極的に運動とかかわるために必要な能力や態度を身に付ける。 (2) 体力の向上を目指し、仲間と協力し、助け合いながら心身を鍛える。 (3) 健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を身に付ける。			
学習方法	【授業】 南高体操・補強運動・集団走は毎時の導入として実施し、補強的にフリー走を行う。集団行動の様式を身に付け、基礎体力の向上を図る。主運動においては、様々な種目に関する技能の向上や、スポーツを楽しむために必要な社会性を身に付ける。 【補習・その他】 事情により見学する場合は、講座担当者に申し出て、活動の指示を受ける。 長距離走の練習期間における見学・欠席については、特別な理由がある場合を除いて補習を実施する。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 体づくり運動 イ 体育理論 ウ 球技 (ア) ソフトボール (イ) テニス (ウ) バドミントン (エ) 卓球 2 2学期 (1) 期末考査まで ア 球技選択 (ア) サッカー (イ) バドミントン (ウ) 卓球 (エ) テニス イ 陸上競技 (長距離走) 3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 球技選択 (2学期と同じ種目)		<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動、体力を高める運動の目的を理解し、発達段階に応じて適切に実践する。 ・社会の変化とスポーツとのかかわりを理解する。 ・球技種目の特性を理解し、個人及び集団の技能を高める。 	
評価規準	知識・理解	運動の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	運動実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解し、課題解決に必要な基礎的事項について理解している。	運動の科学的な理解に基づき、合理的に練習を行い、各運動の特性に応じて段階的に技能を身に付けることができる。	個人や集団の課題に応じて、運動の取り組み方や計画を工夫している。 様々な場面で適切に判断し、課題解決を目指して考え、それらを的確に表現できている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、合理的・計画的な運動実践に主体的に取り組もうとする。
評価方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点から総合的に判断して評価する。			
その他				